

**OGPFT-DWA** ウェイク (LA700S/LA710S)・タント (LA600S/LA610S)

**OGPFT-TRO** トール (M900S/M910S)・タンク・ルーミー・ジャスティアー

**OGPFT-DTA** タント (LA650S/LA660S)

**OGPFT-TRA** ロッキー (A200S/A210S)・ライズ

**OGPFT-DMC** ムーブキャンバス (LA800S/LA810S)  
※最後のページに補足あり

**正しくご利用いただくため、必ずこの説明書を最後までお読みください。**

**本製品の取り付け作業中または取り付け後に起きたすべての事故に対して、弊社は責任を負いかねますのでご注意ください。**

## **警告**

- ※本製品は **KICKER** CSS674 および KSS6704 専用の取り付けキットです。他のスピーカーには適合しません。
- ※取り付けには専門の技術や知識を必要とします。必ず専門の販売店様において取り付けを行ってください。
- ※取り付けには必ず作業内容に適した工具を使用してください。不適切な工具を使用しますと怪我や事故の原因となります。
- ※取り付けには必ず付属の指定された部品を使用してください。指定部品以外を使用しますと商品だけでなく車体の破損や事故の原因となります。
- ※取り付け作業中は絶対にエンジンを始動しないでください。
- ※取り付け作業中はサイドブレーキを確実に引き、必ずブレーキロック状態にしてください。
- ※取り付け前には、作業中のショート事故や製品の故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

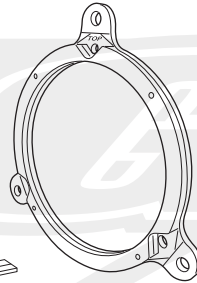
## **注意**

- ※車両フレームなどには「バリ」が出ている場合があります。けがをしないように十分にご注意ください。必要に応じて保護テープなどで保護をしてください。
- ※作業中に車両パネルや製品に傷を付けないように十分にご注意ください。必要に応じて保護テープなどで保護してください。
- ※各車両の内張りのばらし方やスピーカーコードの配線色などに関する資料は弊社では提供できかねます。
- ※本製品およびスピーカーを取り付けるにあたって、車種によっては別途防水処理が必要な場合があります。その際は現車にあわせて的確な防水処理を行ってください。
- ※本製品およびスピーカーを取り付けるにあたって、車種によってはその周辺に隙間などがあく場合があります。その際は現車にあわせて的確な処理を行ってください。
- ※本製品およびスピーカーを取り付けるにあたって、車種によっては車両側に干渉する場合があります。その際は現車にあわせて的確な処理を行ってください。
- ※本製品およびスピーカーを取り付け後、車種によっては内張りなどに不快な振動音が発生する場合があります。その際は現車にあわせて的確な処理を行ってください。

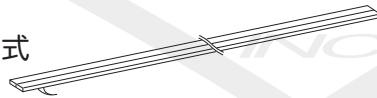


内容物一覧

①本体（スピーカーバッフル） 2個



②スポンジテープ 一式



バッフルの裏面に張ります

③タッピングネジ（φ4×14） 8本



スピーカーの固定に使用します。

④スピーカー変換コネクター 2個

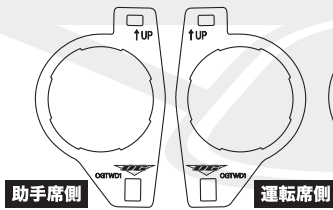


⑤スピーカー変換コネクター用端子 4個

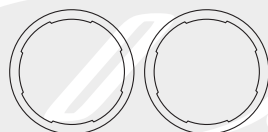


OGPFGT-DWA

⑨ツイーターパネル

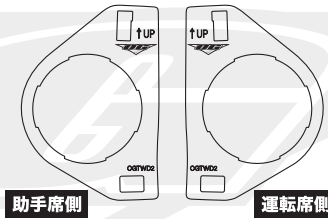


⑩リングスペーサー

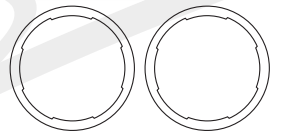


OGPFT-TRO

⑨ツイーターパネル

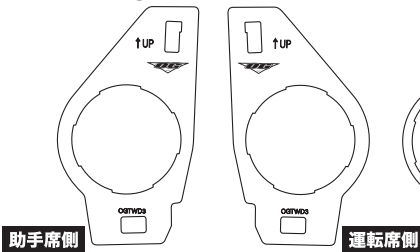


⑩リングスペーサー

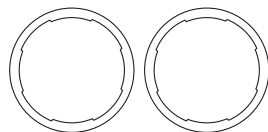


OGPFT-DTA

⑨ツイーターパネル

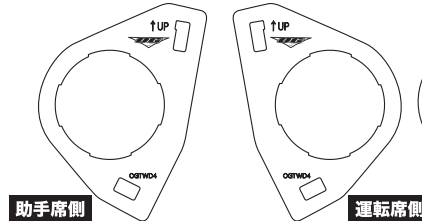


⑩リングスペーサー

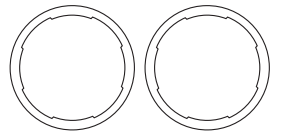


OGPFT-TRA

⑨ツイーターパネル

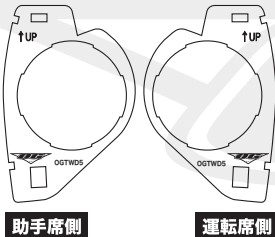


⑩リングスペーサー

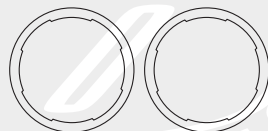


OGPFT-DMC

⑨ツイーターパネル



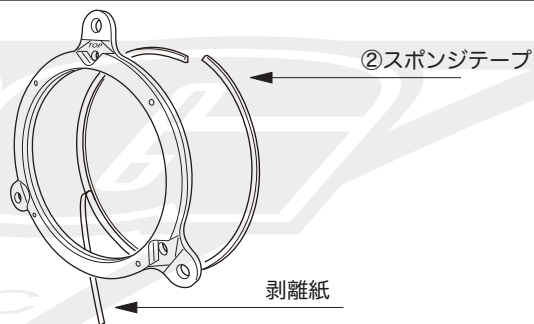
⑩リングスペーサー





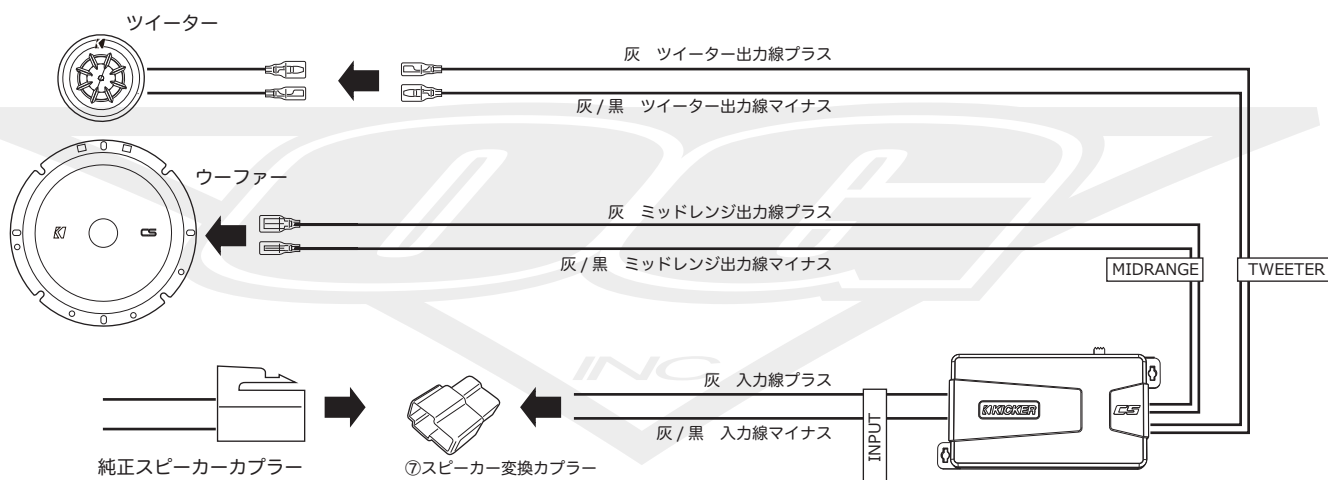
## スポンジテープの張り方

②スポンジテープをバッフルの裏面に張ります。



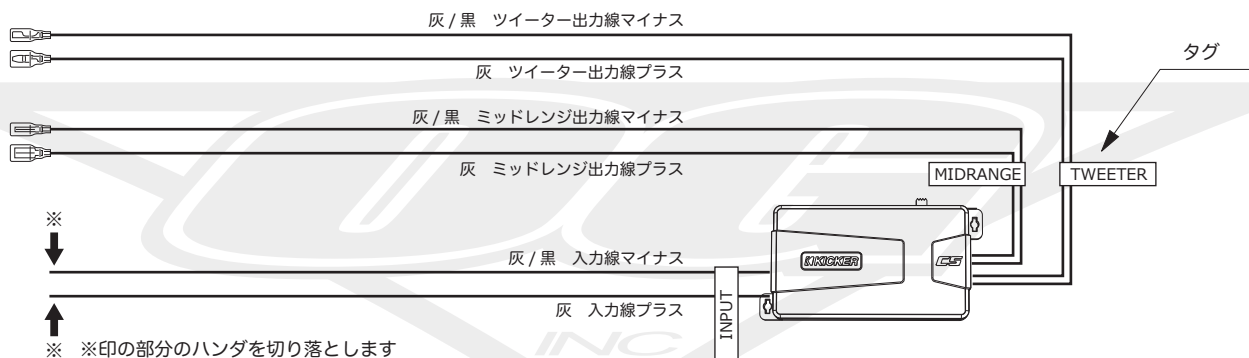
## 配線の概要

パッシブクロスオーバーへの入力は、純正スピーカー裏のカプラーから④スピーカー変換カプラーを介して接続します。ツイーターおよびミッドレンジへは、それぞれギボシで接続します。パッシブクロスオーバーをドア内に設置することにより、純正配線を加工することなく全ての作業がドア内で完了することができます。



## ⑦スピーカー変換カプラーの組み付け

入力線の先端※2箇所先の先端にあるハンダを切り落とします。



各配線についている「タグ」は無くさないようにご注意ください。

次のページへ

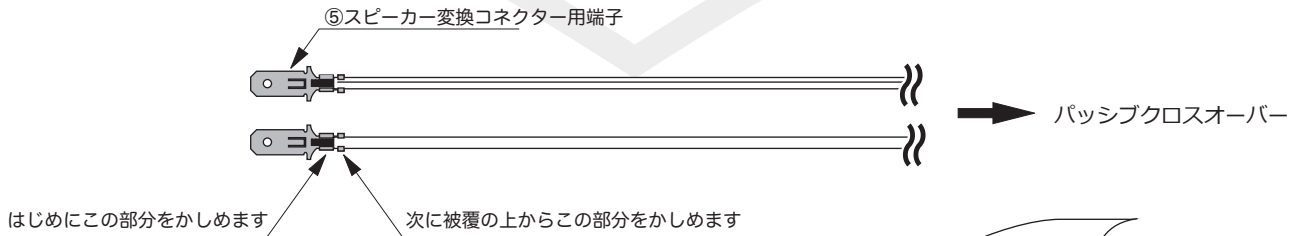


## ④スピーカー変換コネクターの組み付け 続き

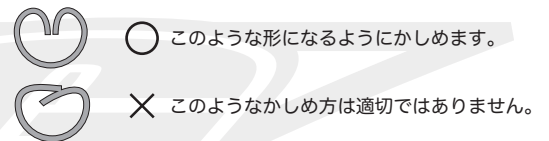
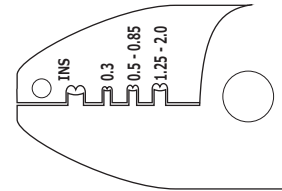
入力線の先端※2箇所の被覆を約2ミリほど剥きます。



被覆を剥いたところに電工ペンチを使用して⑤スピーカー変換コネクタ用端子をかします。

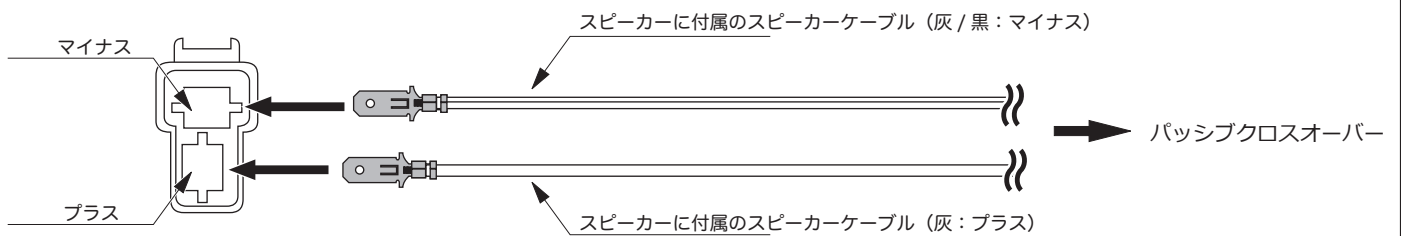


**!** ⑤スピーカー変換コネクタ用端子は必要数しか同梱されていません。失敗するとやり直しが出来ませんので慎重に作業を進めてください。

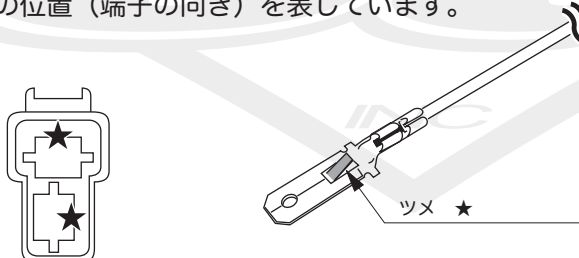


最後に④スピーカー変換コネクタに端子を差し込みます。  
カプラーのツメを上に見て、下側がプラス、上側がマイナスです。  
差し込んだ後は少し引っ張り、抜けないことを確認してください。

【背面から見た図】



⑤スピーカー変換コネクタ用端子には「ツメ」があります。  
下記の図の★印はツメの位置（端子の向き）を表しています。





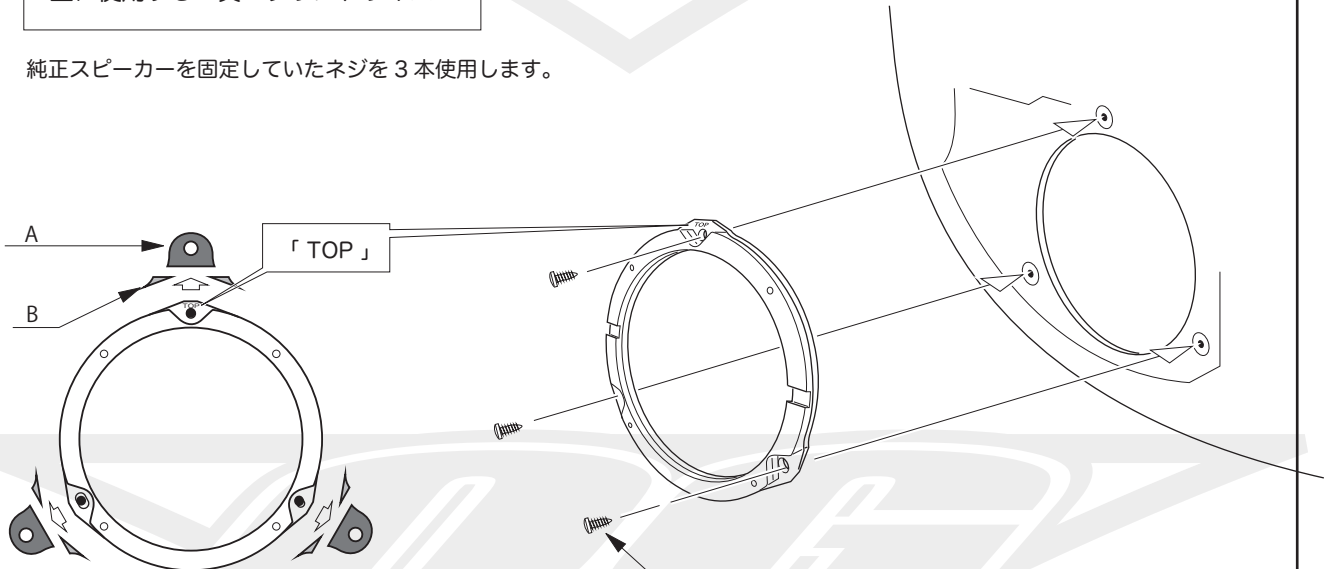
## バッフルおよびスピーカーの取り付け方

1

② スポンジテープをバッフルの裏面に張った状態で車両に取り付けます。

主に使用する工具：プラスドライバー

純正スピーカーを固定していたネジを3本使用します。



※「TOP」が上になるようにとりつけます。

※使用する穴は●の3ヶ所です。

※Aは必ず切り取ります。Bは必要に応じて切り取ってください。

純正スピーカーを固定していたネジ（3本）

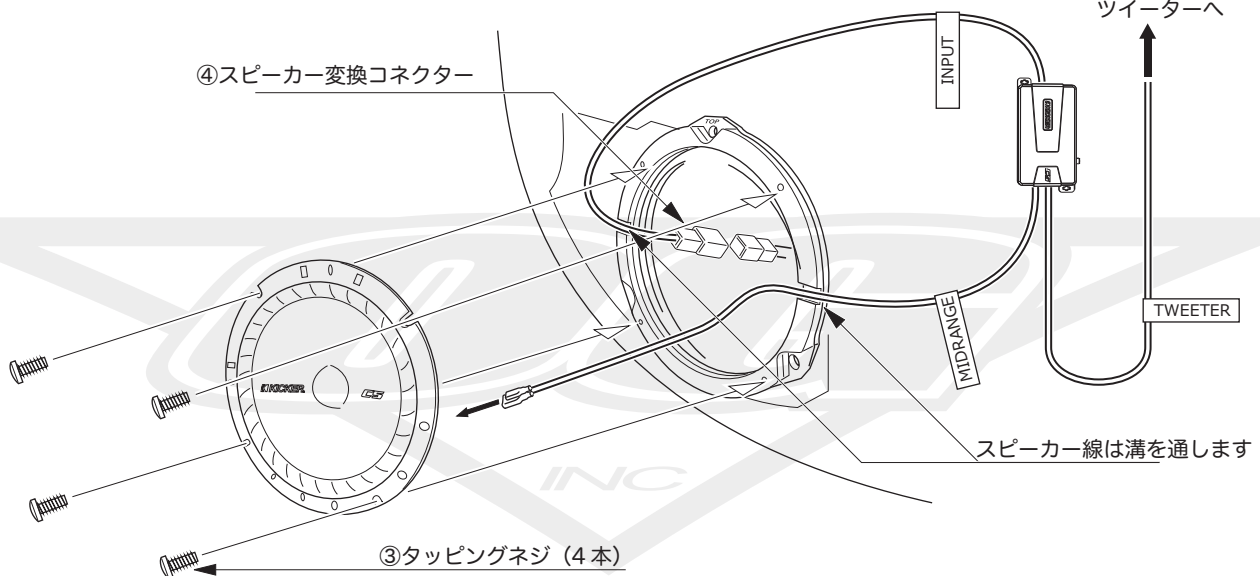
2

スピーカーをバッフルに取り付けます。

主に使用する工具：プラスドライバー

③ タッピングネジを4本使用します。

パッシブクロスオーバーはドア内に設置します



④ スピーカー変換コネクタ

ツイーターへ

スピーカー線は溝を通します

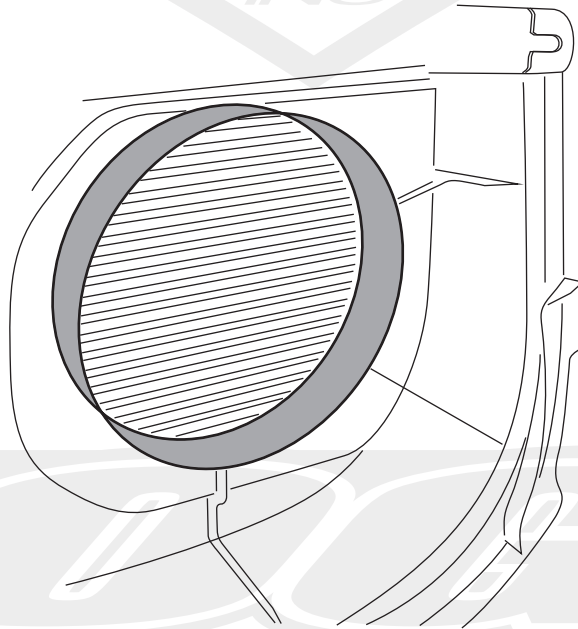
③ タッピングネジ（4本）



## バッフルおよびスピーカーの取り付け方

ドアの内張りの裏側にあるリブを切り取ります。

主に使用する工具：プラスチックカッター・ヤスリ



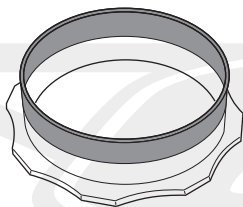
## ツイーターリングの加工

CSS674/KSS6704 に付属のツイーターリング（ショートタイプ）を加工します

※CSS674/KSS6704 共にツイーターリングはショートタイプとロングタイプが付属されています。ロングタイプは使用しません。

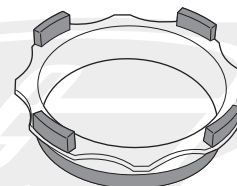
### ■CSS674 の場合

リングの高さが半分になるようにカットします

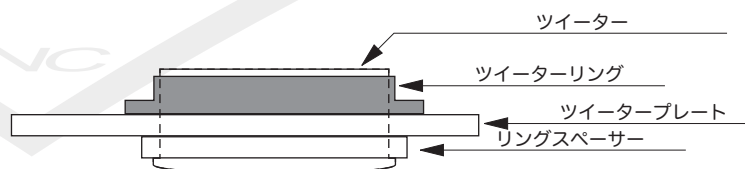


### ■KSS6704 の場合

リングの高さが半分になるようにカットします  
4箇所ツメをカットします



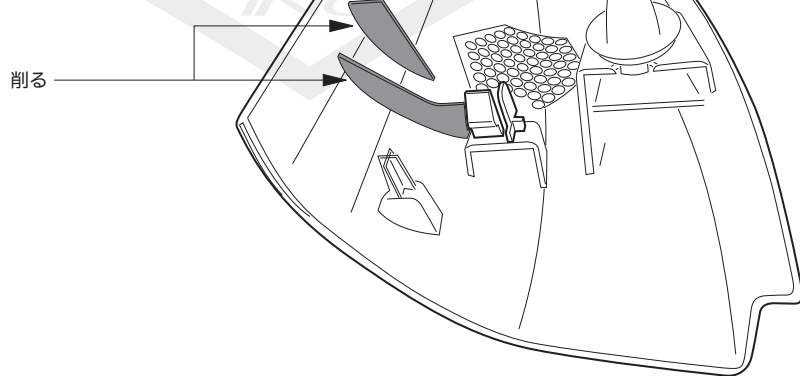
右図のようにパネルにツイーターを取り付けた時に、ツイーターよりもツイーターリングが低くなるようにカットする必要があります。



## 純正ツイーターカバーの加工

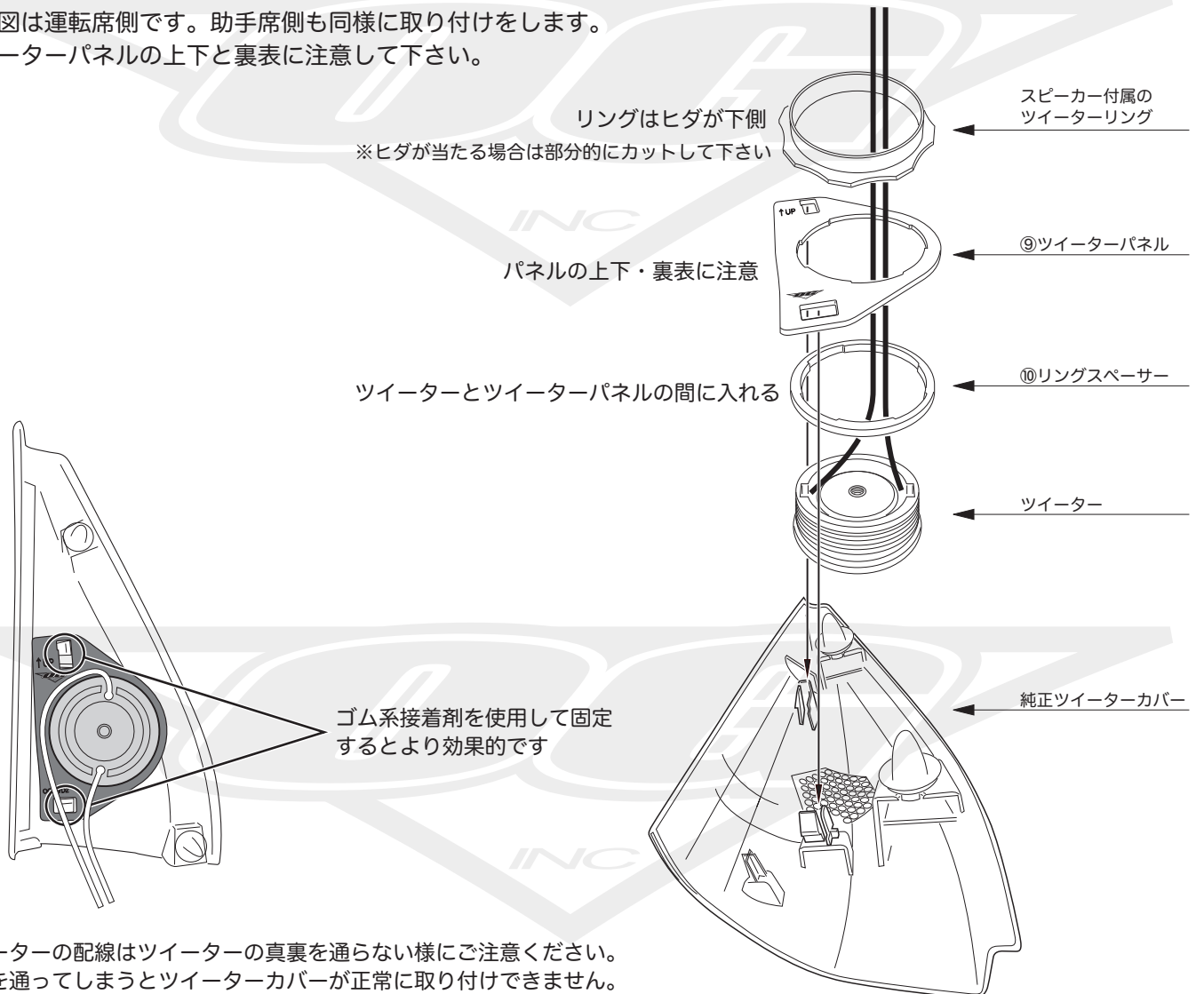
OGDSPFT1、2 および 3 を使用する場合は  
純正ツイーターカバー裏側のリブを削ります。  
OGTWD4、5 を使用する場合は加工する必要はありません。

例：OGDSPFT2 の場合



## 取り付け

この図は運転席側です。助手席側も同様に取り付けをします。  
ツイーターパネルの上下と裏表に注意して下さい。



ツイーターの配線はツイーターの真裏を通らない様にご注意ください。  
真裏を通ってしまうとツイーターカバーが正常に取り付けできません。



## OGDSPFT5 に関する補足

本製品を取り付ける際に、ツイーターリングの「ヒダ」が純正ツイーターカバーの一部に干渉して取り付けが出来なくなる場合があります。

下記の図のようにヒダの位置にご注意ください。

純正ツイーターカバーへの取り付けは2点のツメで固定しますが、取り付けの順番があります。

取り付ける際にはツメ①からはめます。

取り外す際にはツメ②からはずします。

